

# 社会保険労務士合格体験記

北海道旭川市 森田幸洋（カセット総合コース受講・平成17年合格）

択一式62点（約9割の得点）で見事合格

私が何故社労士を目指したかと云うと、「独立開業する」、「自分の城を持つ」等々、何点かの理由はありますが、現在まで三十余年生きてきて、自分の性格などを考えてみると会社員として生きていくよりも、独立して生きていく人間であると思っていること、並びに法律の勉強がすこぶる好きである。又は「年金」というものに強い興味があった。（年金の知識はお金になると思いました。）故に独立開業する為に社労士になろうと思ったというのが最大の理由です。

そして、今回スコレのカセットコースを受講して択一62点・選択32点で合格しました。

受講期(不安を払拭して前進)

3年強の蛭雪時代を振り返ってみると、とにかく勉強しました。少々体の調子も悪くなりました。首が曲がらなくなり、病院に行くと、眼精疲労ではないかと言われたこともありました。俺は本当に合格するのか一生合格しないのではないかとマイナス思考が脳裏をかすめた事は、多々ありました。しかし、そんな事は考えてもしょうがないと割り切り、前進したなあと記憶しております。

勉強している過程では、苦しい、楽しいと思った事はあまり記憶にはないです。おれは社労士になるのだから、これぐらいの事は知っていないと恥ずかしいなあという義務感がありましたから、苦しい、楽しいと思った事は、なかったと思います。

スコレの講習はすこぶるすばらしいの一言です

スコレさんの講習に関してですが、すこぶるすばらしいという言葉につきると思います。あれだけ条文を読みこなす、俺らは法律家になるのだという「平尾先生」の魂の叫びのようなものが、心にびびびしとひびきわたりました。条文を読みこなす能力は、ある意味「特殊技能」であると痛感しました。カセット総合講座（通信制）の受講料も25万円強で非常にリーズナブルだと思いました。

## 試験現場(合否の分かれ目)

とにかく私の弱点は、選択式試験にありました。社労士試験の難しさは、選択式試験にあると言っても過言ではありません。実は今年度も非常に選択式試験には、難儀しました。下手をすれば、合格できませんでした。救済措置のあった労基法、安衛法の部門でした。最低得点の2点はなんとか確保しましたが、その過程は、文章では表現できない、戦いがありました。とにかく考えて何とか2点は確保しました。選択式試験は毎年必ず1問、難問が出題されます。その難問をいかに2点獲るか、獲らないかが、勝敗の分かれ目であると、思慮しております。

ある意味精神力です。とにかく頑張った人間には、幸運が舞い降りるということを痛感した次第であります。

## 社労士試験に合格するための基本

社労士試験に合格するのに何も特別な能力、勉強が、必要なわけではありません。いかに普通のことができるかが、勝負の分かれ目です。「条文」を「読み」、「覚え」、「理解」、「想定」できるかが、勝負です。過去に出題された問題、論点を繰り返し、解き、考え、覚えていって下さい。あとは、法改正をしっかりと勉強して下さい。

## 最後に

社労士の試験は、まだまだ、税理士、弁護士などから比べれば、合格しやすい資格です。とにかく頑張って合格して下さい。あとはとにかく自分を含めて、資格を死格にしないこと。知識、能力をいかにお金に、還元できるか、仕事は、ボランティアではありません。自分自身、メシを喰うために、経済活動を行っていることを念頭において、目標に向かって、生きていこうではありませんか。